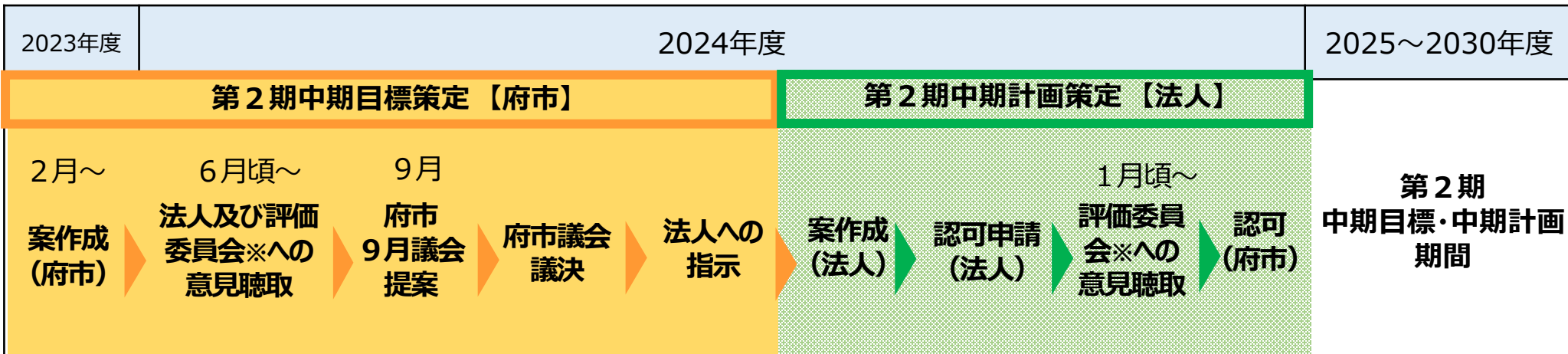


大阪公立大学の取組について

本日の会議の趣旨

- ◆ 大阪府及び大阪市が2019年4月に設立した「公立大学法人大阪」は、現在、第1期中期目標・中期計画の期間中。（第1期期間は、2019年度から2024年度までの6年間）
- ◆ 2024年度中に、設立団体（府市）は第2期中期目標を策定し、公立大学法人大阪は、指示された中期目標に基づき、第2期中期計画を策定予定。
- ◆ 第2期中期目標案の作成に先立ち、本日、今後の大阪公立大学の取組について法人からヒアリングし、設立団体と法人のトップが意見交換。

【スケジュール案】



※大阪府市公立大学法人大阪評価委員会

2017年9月	府市が両議会に法人統合関連議案を提出 ⇒府議会で可決（11月）、市会で可決（2018年2月）
2018年9月	府市が両議会に、新法人の「第1期中期目標（案）」を提出 ⇒府議会及び市会で可決（12月） 【第1期中期目標期間：2019～2024年度】
2019年4月	新法人「公立大学法人大阪」の設立
2020年1月	府、市、法人の三者による「新大学基本構想」を策定 ・新たに「都市シンクタンク」機能及び「技術インキュベーション」機能を備える ・本来の使命である「教育」「研究」「社会貢献」の機能を強化 ・国際競争力の強化をめざす取組を展開
2020年2月	府市が両議会に、「第1期中期目標」の変更案を提出⇒市会で可決（2月）、府議会で可決（3月） ・大学統合による新大学を2022年度に設置する旨の目標を記載 ※府議会は附帯決議あり
2020年7月	府、市、法人の三者による「新大学基本構想」を一部改訂 ・府議会の附帯決議等を踏まえ、情報学研究科（大学院）を森之宮キャンパスに配置（変更前：中百舌鳥） ・生活科学部（うち居住及び福祉）は、移転せず杉本キャンパスに配置（変更前：森之宮に移転）
2021年8月	国から新大学の設置認可
2021年9月	府市が両議会に、「第1期中期目標」の変更案を提出 ⇒市会で可決（9月）、府議会で可決（10月） ・統合後の大阪公立大学に関する目標を記載
2022年4月	府市の大学が統合し、大阪公立大学が開学
2024年1月	府市の法人管理部門を副首都推進局に一元化
2024年秋	府市が両議会に、「第2期中期目標（案）」を提出（予定） 【第2期中期目標期間：2025～2030年度】
2025年秋	森之宮キャンパス開所（予定）

前文

- **大阪の発展をけん引する「知の拠点」**を目指し、「**教育」「研究」「社会貢献」の3つの基本機能**のさらなる強化、「**都市シンクタンク機能**」と「**技術インキュベーション機能**」の**2つの新たな機能**を充実・強化、「**スマートシティ**」など4つの戦略領域への重点的な取組、**国際競争力の強化**を展開。
- 教育研究体制の同種分野の融合や選択と集中の視点を入れつつ、時代の要請に応じて**学部、研究科等の設置を検討**。
- この新大学基本構想に基づく取組を進め、大阪公立大学は、公立大学としての強みを存分に発揮し、**世界水準の高度研究型大学**を目指す。
- 法人は、**大学統合による効果を最大限発揮させ、新しい価値を創造し、大阪公立大学及び高専の価値を向上**させる。

第1 中期目標の期間及び教育研究上の基本組織

期間は、2019年4月1日から2025年3月31日までの6年間

第2 教育研究等の質の向上に関する目標

1 大阪公立大学に関する目標

- (1)教育に関する目標：地域社会から国際社会まで幅広く活躍できる人材、実践力を備えた職業人や研究者を育成
- (2)研究に関する目標：イノベーション創出や現代社会の課題解決に資する先端研究・異分野融合研究を推進
- (3)社会貢献に関する目標：諸機関との連携強化、地域で活躍する人材の育成、生涯学習への貢献、産業活性化
- (4)大阪の発展に貢献する2つの新機能に関する目標：都市シンクタンク機能及び技術インキュベーション機能
- (5)国際力の強化に関する目標：英語教育強化や国際通用性の高い教育カリキュラム整備、優秀な留学生の受入
- (6)附属病院に関する目標：質の高い医療と先進医療を提供、高度専門的な医療人材を育成

2 大阪公立大学工業高等専門学校に関する目標

- (1)教育に関する目標：Society5.0に対応した実践的技術者の養成、大阪公立大との連携、中百舌鳥キャンパス移転に向けた環境整備
- (2)社会貢献に関する目標：産学連携の活性化、小中学生の人材育成、社会人対象のリカレント教育の検討

3 大阪府立大学及び大阪市立大学に関する目標

両大学に在学する者がいなくなる日までの間、教育を保障

第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標

- 1 運営体制：理事長はマネジメント力を発揮し法人経営、学長及び校長はリーダーシップをもって教育研究等を推進、大学の統合効果を最大限発揮
- 2 組織力の向上：女性や外国人の比率に具体的数値目標を設定、機動的・弾力的な組織運営、柔軟な人事制度の構築

第4 財務内容の改善に関する目標

外部資金獲得や寄附金確保など、自己収入等の確保

第5 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標

- 1 自己点検・評価体制の整備
- 2 各種情報の適切な公表、プレゼンスを高めるための戦略的広報

第6 その他業務運営に関する重要目標

- 1 森之宮キャンパス等の整備、集約化に伴う学舎整備
- 2 住吉市民病院跡地に整備する新施設の準備
- 3 環境への負荷の軽減や環境保全の推進
- 4 学内の安全管理体制整備、情報セキュリティの維持・向上
- 5 人権尊重及びコンプライアンスの推進
- 6 卒業生組織や保護者等との連携、大学及び高専の支援者拡大